

【学習名】

大きい・小さい

【利用アプリケーション等】

FingerBoard



算数

【目的・対象児童の特性】

平面での大小比較が難しい児童対象。

操作画面の写真



特徴

- 枠に収めることが基準となることで、抽象的な大小の区別がしやすくなる。（実態に応じて枠の大きさを同じにする）
- 枠にイラストを入れてタッチするだけで正誤が分かるため、一人で繰り返し学習することができる。

使い方

- (1) イラストをスライドし、「おおきい」又は「ちいさい」の枠に入れる。
- (2) 枠に入れたイラストをタッチし、答え合わせをする。